

# 伊那谷・経済動向

## 中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuscho-shinkin.jp/>

ALSHIN  
BANK

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		27/11 1.39 倍	26/11 1.10 倍	前年同月比 0.29 倍
電力使用量 (伊那営業所管内)	電灯	9~11月 75,357千kwh	9~11月 77,048千kwh	-2.19 %
	電力	9~11月 251,829千kwh	9~11月 251,748千kwh	0.03 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	6,849 台	6,528 台	4.92 %
	中古車	1,883 台	1,678 台	12.22 %
	合計	8,732 台	8,206 台	6.41 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内)		9~11月 183 件	9~11月 191 件	-4.19 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		56,184 人	41,557 人	35.20 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	284,791 台	284,236 台	0.20 %
	出	269,893 台	272,535 台	-0.97 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	395,254 台	396,379 台	-0.28 %
	出	403,357 台	404,701 台	-0.33 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	312,551 台	307,063 台	1.79 %
	出	314,699 台	306,317 台	2.74 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	251,772 台	247,669 台	1.66 %
	出	244,509 台	243,560 台	0.39 %

前期 7 - 9月    今期 10 - 12月    来期 1 - 3月    4 - 6月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先210社に対し、平成27年10月~12月期の景気の現状と平成28年1月~3月期の見通しを調査したものです。

## 地区内の景況観

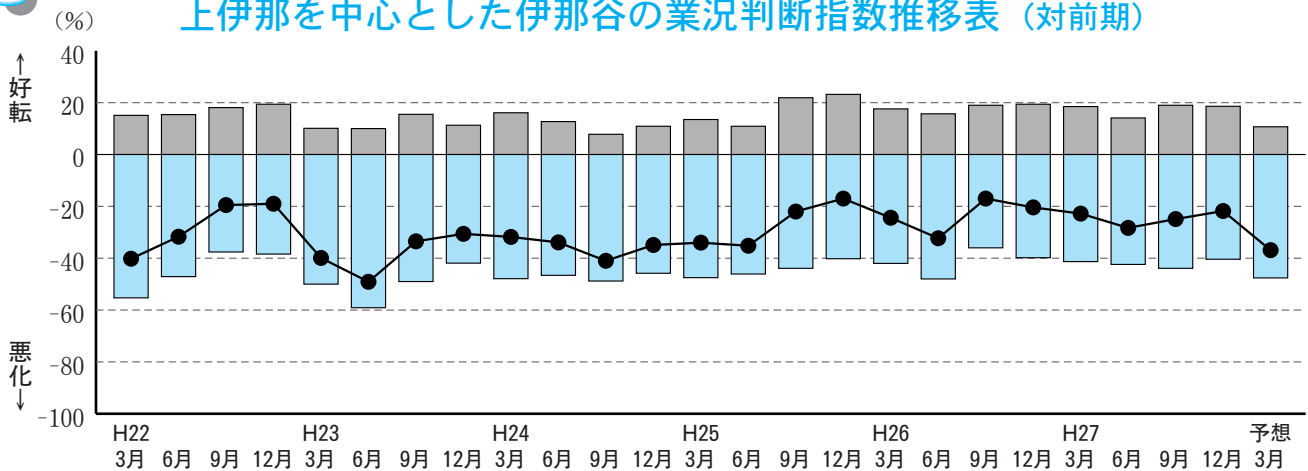
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は18.6%（前期19.0%）、悪かったとする企業は40.4%（前期43.9%）、DIは▲21.8（前期▲24.9）と前期より3.1ポイント改善し、2期連続のマイナス幅縮小となった。新興国経済の減速の影響などがみられるものの、穏やかに回復しつつある。

業種別のDIを見ると、**製造業▲15.7**（前期▲18.6）、**建設業▲9.8**（前期▲12.2）、**卸売業▲10.0**（前期▲30.0）、**小売業▲44.4**（前期▲59.5）、**サービス業▲30.8**（前期▲15.4）、**不動産業▲20.0**（前期0.0）となっており、全ての業種がマイナス領域となっている。前期と比較して、**製造業2.9ポイント**、**建設業2.4ポイント**、**卸売業20.0ポイント**、**小売業15.1ポイント**、それぞれ水面下ながら改善した。**不動産業は20.0ポイント悪化**、**サービス業は15.4ポイント悪化幅が強まった**。

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは▲36.9（今期▲21.8）と今期より15.1ポイント悪化を予想している。新興国経済の減速がどこまで影響を及ぼすのか、先行きに慎重な見方もあり景況感が落ち込む見通しである。

業種別のDIを見ると、**製造業▲24.2**（今期▲15.7）、**建設業▲40.0**（今期▲9.8）、**卸売業▲20.0**（今期▲10.0）、**小売業▲50.0**（今期▲44.4）、**サービス業▲53.8**（今期▲30.8）、**不動産業▲40.0**（今期▲20.0）と、全ての業種がマイナス領域となっている。今期と比較しても、先行き不透明感から全ての業種が低調感を強める見通しで、悪化幅は**製造業8.5ポイント**、**建設業30.2ポイント**、**卸売業10.0ポイント**、**小売業5.6ポイント**、**サービス業23.0ポイント**、**不動産業20.0ポイント**となっている。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

## 業種別天気図

業種	時期	平成27年 4～6月期	平成27年 7～9月期	平成27年 10～12月期	平成28年 1～3月期予想
総合		☁	☁	☁	☔
製造業		☁	☁	☁	☁
建設業		☁	☁	☁	☔
卸売業		☔	☔	☁	☁
小売業		☔	☔	☔	☔
サービス業		☔	☁	☔	☔
不動産業		☁	☁	☁	☔



## 製 造 業 (調査先企業 77 社 うち回答企業 70 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**20.0%**（前期**20.0%**）、悪かったとする企業は**35.7%**（前期**38.6%**）でDIは**▲15.7**（前期**▲18.6**）と**2.9**ポイント改善した。

各指標別で見ると、売上額のDIは**1.4**（前期**2.9**）と**1.5**ポイント増加幅が小幅に縮小（2期連続）した。受注残のDIは**▲5.7**（前期**▲9.8**）と減少幅が縮小した。収益のDIは**▲4.2**（前期**▲12.7**）と**8.5**ポイント改善した。原材料価格は上昇した企業が**15.7%**（前期**19.7%**）、下降した企業が**7.1%**（前期**9.9%**）でDIは**▲8.6**（前期**▲9.8**）と価格の上昇が弱まり落ち着きを見せた。販売価格は上昇した企業が**0.0%**（前期**1.4%**）、下降した企業が**10.0%**（前期**9.9%**）で、DIは**▲10.0**（前期**▲8.5**）と僅か厳しさを強めた。資金繰りのDIは**▲22.9**（前期**▲16.9**）と**6.0**ポイント厳しさを増した。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲5.7**（前年同期**2.8**）と**8.5**ポイント減少し水面下に落ち込んだ。収益はDI**▲8.6**（前年同期**▲11.4**）と**2.8**ポイント改善した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DIは**▲24.2**（今期**▲15.7**）と**8.5**ポイント減少、今期は改善したが悪化すると予想している。

各指標別で見ると、売上額はDI**▲7.2**（今期**1.4**）と減少を強め水面下に落ち込み、受注残はDI**▲11.4**（今期**▲5.7**）と減少幅が拡大すると予想している。収益はDI**▲13.1**（今期**▲4.2**）で低迷すると予想している。資金繰りのDIは**▲20.3**（今期**▲22.9**）と改善を予想している。

### ◆DI指数推移

		平成26年	平成27年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況		▲27.5	▲12.7	▲5.8	▲18.6	▲15.7	▲24.2
売 上 額		▲7.1	▲1.4	4.3	2.9	1.4	▲7.2
受 注 残		▲12.8	▲7.1	▲10.2	▲9.8	▲5.7	▲11.4
収 益		▲14.3	▲1.4	▲4.3	▲12.7	▲4.2	▲13.1
販 売 価 格		▲5.7	▲1.4	▲7.2	▲8.5	▲10.0	▲2.9
原 材 料 価 格		▲40.0	▲45.1	▲42.9	▲9.8	▲8.6	▲11.6
原 材 料 在 庫		▲2.9	14.1	11.6	8.5	7.1	4.4
資 金 繰 り		▲15.7	▲14.0	▲17.4	▲16.9	▲22.9	▲20.3

### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

		平成26年	平成27年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
借 入 実 施	し た	47.1	30.0	39.1	38.6	41.2	29.9
	し ない	52.9	70.0	60.9	61.4	58.8	70.1
借 入 難 易 度	容 易	8.7	10.0	2.9	11.3	8.7	—
	不 変	60.9	62.8	78.3	67.5	66.7	—
	難	13.0	12.9	5.8	8.5	14.5	—
	該 当 な し	17.4	14.3	13.0	12.7	10.1	—

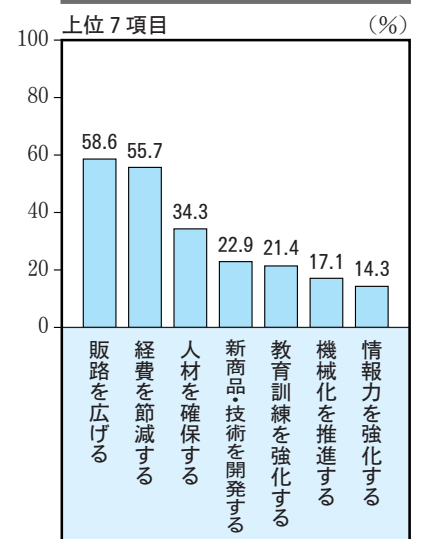
### ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

		平成26年	平成27年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
実 施	し た	44.3	41.9	43.0	44.6	43.0	46.8
	し ない	55.7	58.1	57.0	55.4	57.0	53.2
状 況	過 剰	5.7	11.3	2.9	15.5	5.7	7.2
	適 正	77.2	70.4	78.5	69.0	75.7	72.5
	不 足	17.1	18.3	18.6	15.5	18.6	20.3
D I		▲11.4	▲7.0	▲15.7	0.0	▲12.9	▲13.1

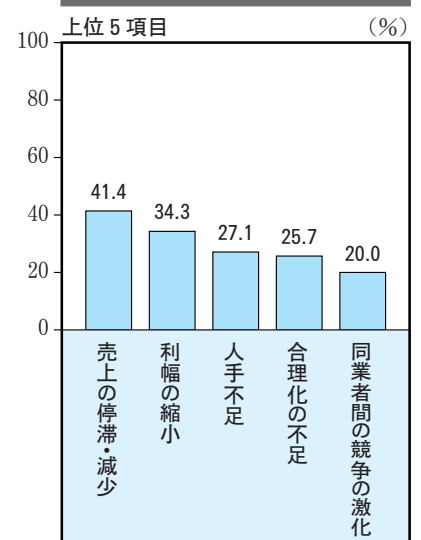
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

		平成26年	平成27年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
残 業 時 間	増 加	17.1	33.8	22.9	15.5	18.6	8.6
	不 変	62.9	46.5	57.1	62.0	57.1	67.1
	減 少	20.0	19.7	20.0	22.5	24.3	24.3
人 手	過 剰	14.3	11.3	5.7	14.1	10.0	8.6
	適 正	64.3	67.6	75.7	53.5	58.6	62.8
	不 足	21.4	21.1	18.6	32.4	31.4	28.6

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）



# 建設業

(調査先企業46社 うち回答企業41社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**19.5%**（前期**24.4%**）、悪かったとする企業は**29.3%**（前期**36.6%**）で、DIは**▲9.8**（前期**▲12.2**）と**2.4**ポイント改善、2期連続してマイナス幅が縮小した。

各指標別で見ると、売上額のDIは**▲14.6**（前期**▲12.5**）と**2.1**ポイント悪化した。受注残はDI**▲4.8**（前期**▲7.5**）と**2.7**ポイント改善した。施工高はDI**▲12.2**（前期**▲2.6**）と**9.6**ポイント減少を強めた。収益はDI**▲19.5**（前期**▲27.5**）で**8.0**ポイント改善した。価格面では請負価格がDI**0.0**（前期**▲17.5**）と価格の下降が弱まった。材料価格はDI**▲29.3**（前期**▲30.0**）と前期とほぼ同様に推移した。資金繰りについては、DI**▲22.0**（前期**▲28.2**）と**6.2**ポイント改善した。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲26.8**（前年同期**▲10.0**）、収益はDI**▲36.5**（前年同期**▲20.0**）とそれぞれ**16.8**ポイント、**16.5**ポイント減少を強めた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI**▲40.0**（今期**▲9.8**）と**30.2**ポイント減少、2期連続で持ち直したが、業況感が再び落ち込むと予想している。

各指標別で見ると、売上額はDI**▲20.0**（今期**▲14.6**）と**5.4**ポイント悪化する見通しである。受注残はDI**▲7.5**（今期**▲4.8**）と**2.7**ポイント減少を強める見通しである。収益はDI**▲25.0**（今期**▲19.5**）と**5.5**ポイント悪化する見通しである。資金繰りはDI**▲32.5**（今期**▲22.0**）と**10.5**ポイント厳しさが増す見通しである。

※「売上高=完成工事高」、「施工高=出来高」、「請負価格=受注額」

## ◆DI指数推移

	平成26年		平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲2.4	▲5.0	▲24.4	▲12.2	▲9.8	▲40.0	
売 上 額	14.6	▲12.5	▲26.8	▲12.5	▲14.6	▲20.0	
受 注 残	9.7	▲22.5	▲17.1	▲7.5	▲4.8	▲7.5	
収 益	▲17.1	▲20.0	▲29.3	▲27.5	▲19.5	▲25.0	
請 負 価 格	0.0	▲10.0	▲7.3	▲17.5	0.0	▲5.0	
材 料 価 格	▲39.1	▲25.0	▲41.5	▲30.0	▲29.3	▲17.5	
在 庫	▲2.5	7.5	7.3	2.5	5.0	5.1	
資 金 繰 り	▲17.1	▲27.5	▲26.8	▲28.2	▲22.0	▲32.5	

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成26年		平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	57.5	43.6	37.5	47.5	53.7	37.5
	しない	42.5	56.4	62.5	52.5	46.3	62.5
借 入 難 易 度	容 易	2.5	10.5	4.9	10.0	7.9	—
	不 変	72.5	68.4	58.5	67.5	65.8	—
	難	17.5	13.2	17.1	12.5	18.4	—
	該当なし	7.5	7.9	19.5	10.0	7.9	—

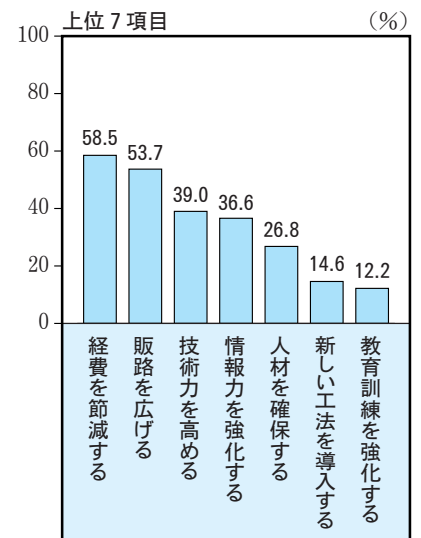
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成26年		平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	42.9	40.0	37.3	31.9	53.2	26.1
	しない	57.1	60.0	62.7	68.1	46.8	73.9
状 況	過 剰	0.0	0.0	4.9	2.4	2.4	2.5
	適 正	85.0	90.0	80.5	78.1	75.6	80.0
	不 足	15.0	10.0	14.6	19.5	22.0	17.5
DI	▲15.0	▲10.0	▲9.7	▲17.1	▲19.6	▲15.0	

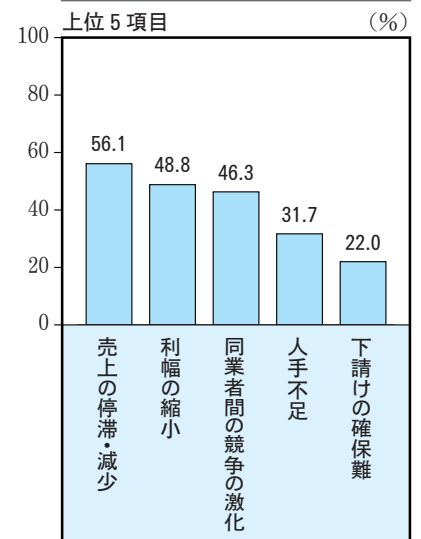
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成26年		平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	17.1	15.0	9.8	7.7	12.2	9.8
	不 変	78.0	75.0	63.4	79.5	70.7	70.7
	減 少	4.9	10.0	26.8	12.8	17.1	19.5
人 手	過 剰	2.4	7.5	10.0	14.6	4.9	4.9
	適 正	65.9	55.0	65.0	56.1	63.4	63.4
	不 足	31.7	37.5	25.0	29.3	31.7	31.7

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 10 社)

◇今期の業況：今期の業況は、良かったとする企業は10.0%（前期0.0%）で、悪かったとする企業は20.0%（前期30.0%）でDI▲10.0（前期▲30.0）と20.0ポイント改善した。

各指標別に見ると、売上額のDIは20.0（前期▲20.0）、収益のDIは30.0（前期▲20.0）とそれぞれ40.0ポイント、50.0ポイント上昇増加に転じた。販売価格はDI10.0（前期20.0）で価格の上昇した企業が1割となっている。仕入価格のDIは▲30.0（前期▲30.0）で価格の上昇した企業が3割となっている。資金繰りはDI10.0（前期▲20.0）と30.0ポイント上昇し窮屈感を脱した。借入れをした企業は20.0%（前期40.0%）、設備投資の実施をした企業は10.0%（前期0.0%）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲10.0（前年同期▲20.0）と改善し、収益はDI0.0（前年同期▲10.0）と良化した。

◇来期の見通し：来期の見通しについては、DI▲20.0（今期▲10.0）と10.0ポイント悪化すると予想している。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲30.0（今期20.0）、収益のDIは▲40.0（今期30.0）と、それぞれ50ポイント、70ポイント大幅に減少、水面下に落ち込むと予想している。販売価格はDI10.0（今期10.0）と今期同様に推移すると予想している。仕入価格はDI▲20.0（前期▲30.0）と価格の上昇が弱まると予想している。借入れを予定している企業は22.2%（今期実施20.0%）、設備投資の実施を予定している企業は36.4%（今期実施10.0%）となっている。

## ◆DI指数推移

	平成26年 10~12月	平成27年				予 想 1~3月
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	10.0	▲11.1	▲30.0	▲30.0	▲10.0	▲20.0
売 上 額	50.0	▲44.5	▲10.0	▲20.0	20.0	▲30.0
収 益	30.0	▲33.3	20.0	▲20.0	30.0	▲40.0
販 売 価 格	20.0	33.3	30.0	20.0	10.0	10.0
仕 入 価 格	▲70.0	▲66.7	▲40.0	▲30.0	▲30.0	▲20.0
在 庫	10.0	22.2	20.0	20.0	40.0	30.0
資 金 繰 り	▲10.0	▲22.2	10.0	▲20.0	10.0	0.0

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成26年 10~12月	平成27年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
借 入 実 施	した	50.0	44.4	30.0	40.0	20.0	22.2
	しない	50.0	55.6	70.0	60.0	80.0	77.8
借 入 難 易 度	容 易	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	—
	不 変	60.0	77.8	60.0	70.0	70.0	—
	難	10.0	11.1	10.0	0.0	0.0	—
	該当なし	20.0	11.1	20.0	20.0	20.0	—

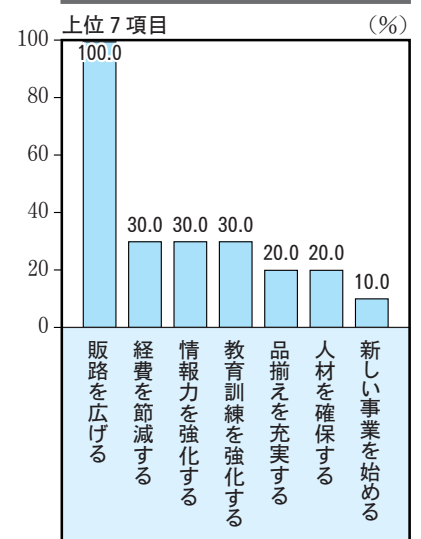
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成26年 10~12月	平成27年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
実 施	した	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	36.4
	しない	90.0	100.0	80.0	100.0	90.0	63.6
状 況	過 剰	10.0	11.1	10.0	10.0	10.0	10.0
	適 正	60.0	77.8	80.0	80.0	80.0	70.0
	不 足	30.0	11.1	10.0	10.0	10.0	20.0
DI	▲20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲10.0	

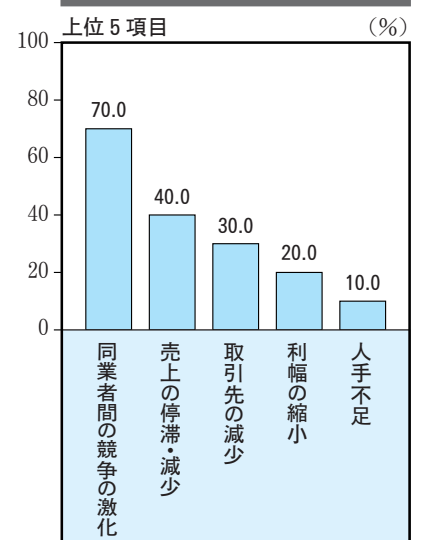
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成26年 10~12月	平成27年				予 想 1~3月	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
残 業 時 間	増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	不 変	90.0	77.8	100.0	100.0	90.0	60.0
	減 少	10.0	22.2	0.0	0.0	10.0	20.0
人 手	過 剰	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	20.0
	適 正	90.0	55.6	100.0	80.0	100.0	60.0
	不 足	10.0	22.2	0.0	20.0	0.0	20.0

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）





## 小 売 業 (調査先企業 40 社 うち回答企業 36 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**16.7%**（前期**10.8%**）、悪かったとする企業は**61.1%**（前期**70.3%**）で、DI▲**44.4**（前期▲**59.5**）と**15.1**ポイント改善、2期連続してマイナス幅が縮小した。

各指標別に見ると、売上額のDIは▲**5.5**（前期▲**37.9**）、収益のDIは▲**11.1**（前期▲**46.0**）と、それぞれ**32.4**ポイント、**34.9**ポイント改善した。販売価格のDIは**0.0**（前期**0.0**）と落ち着きを見せている。仕入価格のDIは▲**16.7**（前期▲**18.9**）と**2.2**ポイント上昇した。資金繰りのDIは▲**22.3**（前期▲**29.7**）と**7.4**ポイント改善した。借入れをした企業は**19.4%**（前期**16.2%**）、設備投資の実施をした企業は**11.1%**（前期**15.8%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲**30.6**（前年同期▲**5.2**）、収益はDI▲**38.9**（前年同期▲**30.8**）と、それぞれ**25.4**ポイント、**8.1**ポイント悪化した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲**50.0**（今期▲**44.4**）と**5.6**ポイント減少、2期連続で持ち直したが、業況感が再び落ち込むと予想している。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲**8.3**（今期▲**5.5**）、収益のDIは▲**16.7**（今期▲**11.1**）と、それぞれ**2.8**ポイント、**5.6**ポイント悪化すると予想している。販売価格のDIは▲**2.9**（今期**0.0**）と**2.9**ポイント低下すると予想している。仕入価格のDIは▲**17.1**（今期▲**16.7**）と今期とほぼ同様に推移すると予想している。借入れを予定している企業は**19.4%**（今期実施**19.4%**）と今期同様の見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**16.7%**（今期実施**11.1%**）と今期より増加する見通しである。

### ◆DI指数推移

	平成26年		平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲20.5	▲37.9	▲62.9	▲59.5	▲44.4	▲50.0	
売 上 額	28.2	▲44.8	▲42.8	▲37.9	▲5.5	▲8.3	
収 益	10.3	▲36.8	▲60.0	▲46.0	▲11.1	▲16.7	
販 売 価 格	7.7	▲21.0	2.9	0.0	0.0	▲2.9	
材 料 価 格	▲28.2	▲18.4	▲40.0	▲18.9	▲16.7	▲17.1	
在 庫	23.0	13.1	8.6	10.8	22.3	25.0	
資 金 繰 り	▲23.1	▲15.7	▲53.0	▲29.7	▲22.3	▲16.7	

### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成26年		平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	23.1	23.7	14.3	16.2	19.4	19.4
	しない	76.9	76.3	85.7	83.8	80.6	80.6
借 入 難 易 度	容 易	18.4	13.5	20.6	16.7	11.1	—
	不 変	42.2	51.4	41.1	41.6	47.2	—
	難	10.5	10.8	11.8	16.7	13.9	—
	該当なし	28.9	24.3	26.5	25.0	27.8	—

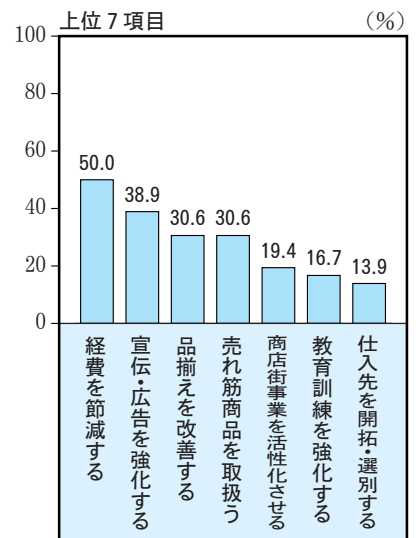
### ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成26年		平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	15.4	14.6	13.9	15.8	11.1	16.7
	しない	84.6	85.4	86.1	84.2	88.9	83.3
状 況	過 剰	2.6	5.4	3.0	8.6	9.1	9.4
	適 正	76.3	75.7	66.7	71.4	69.7	65.6
	不 足	21.1	18.9	30.3	20.0	21.2	25.0
DI	▲18.5	▲13.5	▲27.3	▲11.4	▲12.1	▲15.6	

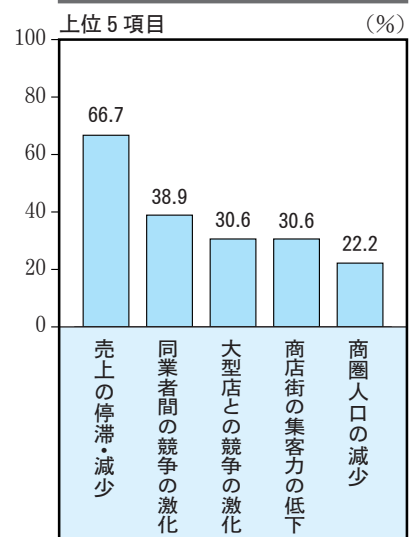
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成26年		平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	8.1	2.9	8.8	5.6	17.6	11.8
	不 変	89.2	85.7	82.4	88.8	70.6	79.4
	減 少	2.7	11.4	8.8	5.6	11.8	8.8
人 手	過 剰	5.3	11.1	9.1	11.1	2.9	0.0
	適 正	73.6	72.2	81.8	77.8	85.7	85.7
	不 足	21.1	16.7	9.1	11.1	11.4	14.3

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）



## サービス業 (調査先企業 30 社 うち回答企業 26 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は19.2%（前期23.1%）、悪かったとする企業は50.0%（前期38.5%）で、DIは▲30.8（前期▲15.4）と15.4ポイント悪化した。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲27.0（前期11.5）、収益のDIは▲30.8（前期3.8）と、それぞれ38.5ポイント・34.6ポイント悪化、前期増加に転じたが今期再び減少に戻った。仕入価格のDIは▲23.1（前期▲34.7）で価格が上昇した企業の割合が減少した。料金価格のDIは▲3.9（前期3.8）で価格が上昇した企業の割合が、下降した企業の割合を下回った。資金繰りのDIは▲23.1（前期▲3.8）と19.3ポイント厳しさを増した。借入れをした企業は34.6%（前期50.0%）、設備投資の実施をした企業は26.9%（前期34.5%）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲7.7（前年同期▲18.5）、収益はDI▲15.4（前年同期▲25.9）と、それぞれ10.8ポイント・10.5ポイント改善した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、DI▲53.8（今期▲30.8）と23.0ポイント減少、今期に続き業況感が落ち込むと予想している。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲30.8で（今期▲27.0）、収益のDIは▲34.7（今期▲30.8）と、それぞれ3.8ポイント・3.9ポイント減少幅が拡大すると予想している。仕入価格は今期と同様であるが、料金価格は価格が下降したとする企業の割合が増加する見通しである。資金繰りのDIは▲27.0（今期▲23.1）と厳しさが増すと予想している。借入れを予定している企業は23.1%（今期実施34.6%）と今期より減少する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は18.5%（今期実施26.9%）と今期より減少する見通しである。

## ◆DI指数推移

(%)

	平成26年	平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲48.2	▲55.6	▲48.0	▲15.4	▲30.8	▲53.8
売 上 額	▲33.3	▲44.5	▲7.7	11.5	▲27.0	▲30.8
収 益	▲26.9	▲48.2	▲11.6	3.8	▲30.8	▲34.7
料 金 価 格	▲7.4	3.7	11.6	3.8	▲3.9	▲11.5
材 料 価 格	▲44.4	▲48.1	▲38.5	▲34.7	▲23.1	▲23.1
資 金 繰 り	▲25.9	▲34.6	▲27.0	▲3.8	▲23.1	▲27.0

## ◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合)

(%)

	平成26年	平成27年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 施	した	33.3	30.8	15.4	50.0	34.6	23.1
	しない	66.7	69.2	84.6	50.0	65.4	76.9
借 入 難 易 度	容 易	3.7	3.8	3.8	12.5	7.7	—
	不 変	66.7	61.6	73.1	66.6	69.3	—
	難	18.5	26.9	15.4	16.7	11.5	—
	該当なし	11.1	7.7	7.7	4.2	11.5	—

## ◆設備投資の動き (有効回答に占める割合)

(%)

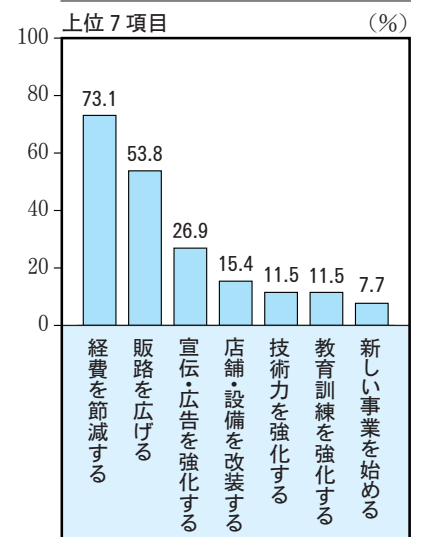
	平成26年	平成27年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	28.6	20.7	21.4	34.5	26.9	18.5
	しない	71.4	79.3	78.6	65.5	73.1	81.5
状 況	過 剰	0.0	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0
	適 正	85.2	76.9	88.5	80.8	96.0	95.8
	不 足	14.8	15.4	7.7	15.4	4.0	4.2
DI	▲14.8	▲7.7	▲3.9	▲11.6	▲4.0	▲4.2	

## ◆雇用面の動き (有効回答に占める割合)

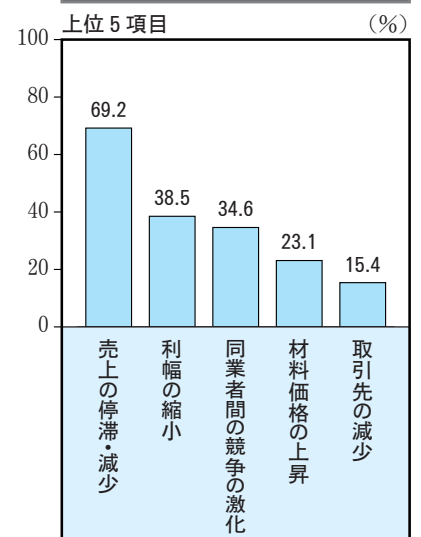
(%)

	平成26年	平成27年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	7.4	0.0	11.5	16.0	20.8	4.2
	不 変	74.1	73.1	65.4	76.0	75.0	79.1
	減 少	18.5	26.9	23.1	8.0	4.2	16.7
人 手	過 剰	0.0	22.2	11.5	0.0	0.0	8.0
	適 正	63.0	55.6	73.1	61.5	72.0	76.0
	不 足	37.0	22.2	15.4	38.5	28.0	16.0

## 重点経営施策 (複数回答)



## 経営上の問題点 (複数回答)



## 不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業5社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**20.0%**（前期**40.0%**）、悪かったとする企業は**40.0%**（前期**40.0%**）で、DIは**▲20.0**（前期**0.0**）と悪化した。

各指標別で見ると、売上額のDIは**▲40.0**（前期**20.0**）と**60.0**ポイント悪化した。収益のDIは**0.0**（前期**20.0**）と**20.0**ポイント悪化した。販売価格のDIは**▲20.0**（前期**0.0**）と**20.0**ポイント減少した。仕入価格のDIは**50.0**（前期**0.0**）と**50.0**ポイント上昇し価格の下降を強めた。借入れをした企業は**20.0%**（前期**20.0%**）。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲20.0**（前年同期**0.0**）と低迷、収益はDI**0.0**（前年同期**0.0**）と落ち着いた状態となっている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについてはDI**▲40.0**（今期**▲20.0**）と悪化が強まる予想をしている。

各指標別で見ると、売上額のDIは**▲20.0**（今期**▲40.0**）と改善すると予想している。収益のDIは**0.0**（今期**0.0**）と今期同様に推移すると予想している。販売価格のDIは**▲40.0**（今期**▲20.0**）と**20.0**ポイント減少し価格の下降を強めた。仕入価格のDIは**50.0**（今期**50.0**）と今期同様に予想している。借入れを予定している企業は**40.0%**（今期実施**20.0%**）となっている。

### ◆DI指数推移

（%）

	平成26年	平成27年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	20.0	▲40.0	▲25.0	0.0	▲20.0	▲40.0
売 上 額	0.0	▲20.0	0.0	20.0	▲40.0	▲20.0
収 益	0.0	▲20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
販 売 価 格	▲20.0	▲20.0	0.0	0.0	▲20.0	▲40.0
仕 入 価 格	20.0	20.0	0.0	0.0	50.0	50.0
在 庫	▲40.0	▲20.0	0.0	0.0	▲20.0	▲40.0
資 金 繰 り	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0

### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

（%）

	平成26年	平成27年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0
	しない	80.0	80.0	100.0	80.0	80.0	60.0
借 入 難 易 度	容 易	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	—
	不 変	25.0	75.0	66.7	50.0	50.0	—
	難	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	該当なし	50.0	25.0	33.3	50.0	0.0	—

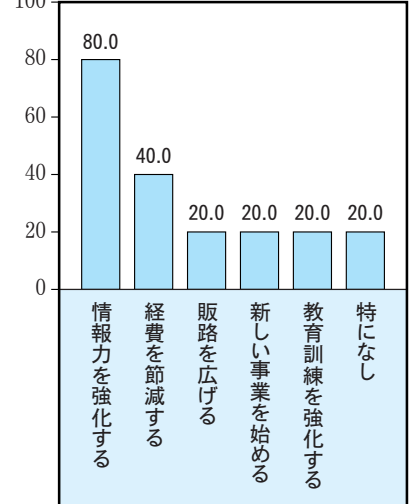
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

（%）

	平成26年	平成27年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	不 変	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	75.0
	減 少	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人 手	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0
	不 足	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

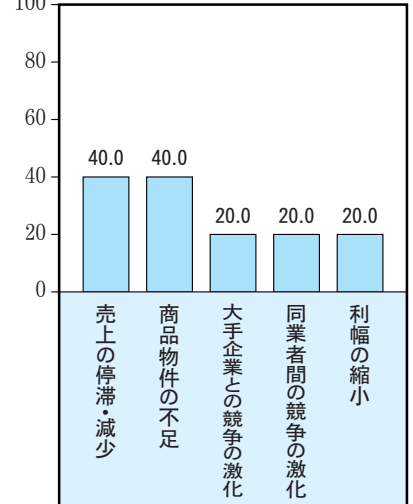
### 重点経営施策（複数回答）

上位6項目（%）



### 経営上の問題点（複数回答）

上位5項目（%）





## 特別調査 2016年(平成28年)の経営見通し

### 問1 貴社では、2016年の日本の景気をどのように見通していますか。

総合では、『良い』(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答した企業の割合は**15.5%**と低く、『悪い』(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)と回答した企業の割合は約半数の**53.0%**であった。『良い』-『悪い』は▲**37.5**で、1年前の水準(▲**60.1**)より景況感は改善されると予想される。(1年前の特別調査「2015年の経営見通し」では、消費税後の穏やかな回復基調が続いているものの、急速な円安進行などによる景気の先行き不透明感から『良い』**8.5%**、『悪い』**68.6%**と景況感の深刻さが大きかった)

業種別に『良い』-『悪い』を見た場合、業種により大きな格差があり、**建設業が▲14.6**と一番高く、次いで**卸売業▲20.0**、**製造業▲34.3**、**サービス業▲38.5**、**小売業▲68.5**、**不動産業▲80.0**の順になっている。(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 良い	1.1	1.4	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0
3. やや良い	14.4	12.9	29.3	10.0	5.7	11.5	0.0
4. 普通	31.5	37.1	26.8	60.0	14.3	38.5	20.0
5. やや悪い	34.8	34.3	29.3	20.0	37.1	38.5	80.0
6. 悪い	16.6	12.9	14.6	10.0	34.3	11.5	0.0
7. 非常に悪い	1.6	1.4	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0

### 問2 貴社では、2016年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

総合では、『良い』(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答した割合は**13.9%**で、『悪い』(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)と回答した割合は**51.9%**であった。『良い』-『悪い』は▲**38.0**で、1年前の水準(▲**47.3**)より業況感は改善されると予想される。

業種別に『良い』-『悪い』を見た場合、業種により大きな格差があり、**卸売業が0.0**と一番高く、次いで**製造業▲25.7**、**建設業▲34.1**、**サービス業▲42.4**、**不動産業▲60.0**、**小売業▲71.4**の順になっている。(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 良い	0.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. やや良い	13.4	17.1	17.1	20.0	8.6	3.8	0.0
4. 普通	34.2	37.1	31.7	60.0	11.4	50.0	40.0
5. やや悪い	35.3	32.9	34.1	20.0	42.9	34.6	60.0
6. 悪い	13.4	10.0	12.2	0.0	28.6	11.6	0.0
7. 非常に悪い	3.2	1.4	4.9	0.0	8.5	0.0	0.0

### 問3 2016年において貴社の売上額の伸び率は、2015年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

総合では、『増加』(「30%以上の増加」~「10%未満の増加」の合計)と回答した割合は**28.8%**で、『減少』(「10%未満の減少」~「30%以上の減少」の合計)と回答した割合は**39.6%**であった。『増加』-『減少』は▲**10.8**で、売上額は2015年より減少すると予想される。

業種別に見ると格差があり、増加する業種は**卸売業・不動産業**、減少する業種は**製造業・建設業・サービス業・小売業**となっている。『増加』-『減少』を見た場合、**卸売業が50.0**と一番高く、次いで**不動産業40.0**、**製造業▲7.1**、**建設業▲9.8**、**サービス業▲15.4**、**小売業▲40.0**の順となっている。卸売業が『増加』の割合が一番高く、小売業が『減少』の割合が一番高くなっている。(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 30%以上の増加	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 20~29%の増加	1.6	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 10~19%の増加	4.8	8.6	0.0	10.0	2.9	3.8	0.0
4. 10%未満の増加	21.9	24.3	19.5	50.0	14.3	15.4	40.0
5. 変わらない	31.6	24.3	36.6	30.0	25.6	46.2	60.0
6. 10%未満の減少	25.7	27.2	22.0	10.0	40.0	19.2	0.0
7. 10~19%の減少	8.6	7.1	4.9	0.0	14.3	15.4	0.0
8. 20~29%の減少	3.7	5.7	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 30%以上の減少	1.6	1.4	2.4	0.0	2.9	0.0	0.0

**問 4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。**

総合では、『本年中までに良好感が出る』（「すでに上向いている」・「6ヶ月以内」・「1年後」の合計）と回答した割合は**40.3%**、また、「業況の改善の見通しは立たない」と回答した割合は**35.5%**となっている。約4割の企業は本年中までに良好感が出るが、良好感の遅れや見通しが立たない企業も多いことがわかる。

業種別に見ると、『本年中に良好感が出る』と回答した割合は**製造業と卸売業が50.0%**と一番多く、次いで**不動産業40.0%、建設業39.0%、小売業32.4%、サービス業23.1%**の順になっている。なかでも**製造業の15.7%**は「すでに上向いている」と回答している。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.すでに上向いている	10.2	15.7	9.8	0.0	8.8	3.9	0.0
2.6ヶ月以内	12.4	14.3	14.6	20.0	11.8	3.8	0.0
3.1年後	17.7	20.0	14.6	30.0	11.8	15.4	40.0
4.2年後	7.0	7.1	7.3	10.0	2.9	7.7	20.0
5.3年後	9.7	11.4	7.3	20.0	2.9	15.4	0.0
6.3年超	7.5	8.6	4.9	0.0	14.7	3.8	0.0
7.業況改善の見通しは立たない	35.5	22.9	41.5	20.0	47.1	50.0	40.0

**問 5 2016年1月にマイナンバー制度が運用開始となりますが、貴社における同制度への対応度合いについてお答えください。また、マイナンバー制度対応への準備にあたって、誰と相談しながら進めてきましたか、または進めていくつもりですか。**

対応度合いについて、総合では、『対応できている』（「十分に対応できている」・「対応できている」の合計）と回答した割合は**54.5%**、『対応できていない』（「あまり対応できていない」・「まったく対応できていない」の合計）と回答した割合は**45.5%**と、『対応できている』企業数が上回っている。

業種別に見ると大きな格差があり、**製造業・建設業・不動産業は『対応できている』企業数が上回っている**が、**卸売業・小売業・サービス業では『対応できていない』企業数が上回っている**。

相談相手について、総合では「**弁護士・税理士・労務士等の専門家**」が**68.6%**と圧倒的に多く、業種別に見てもほぼ同じ回答である。

対応度合い	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.十分に対応できている	5.9	11.6	5.0	0.0	2.9	0.0	0.0
2.対応できている	48.6	59.4	65.0	30.0	28.5	26.9	60.0
3.あまり対応できていない	31.4	23.2	22.5	50.0	48.6	38.5	20.0
4.まったく対応できていない	14.1	5.8	7.5	20.0	20.0	34.6	20.0

相談相手	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
5.取引金融機関	5.9	4.3	0.0	10.0	8.6	16.0	0.0
6.国・自治体・行政機関等	4.9	2.9	7.3	0.0	2.9	8.0	20.0
7.弁護士・税理士・労務士等の専門家	68.6	72.5	70.7	60.0	68.5	56.0	80.0
8.システム業者	3.8	8.7	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
9.自社で対応(相談しない)	10.3	8.7	14.6	20.0	11.4	4.0	0.0
10.わからない	6.5	2.9	4.9	10.0	8.6	16.0	0.0

商品のご案内	
お 使 い み ち	ご自由(事業性資金もOK!)
お 申 込 み いただけ ます	<ul style="list-style-type: none"> <li>●満20歳以上、完済時75歳以下の個人または個人事業主の方</li> <li>●当金庫の営業地域内に居住または勤務されている方</li> <li>●安定継続した収入のある方(パート、アルバイト、年金収入の方もOK)</li> <li>●世帯収入のある専業主婦(夫)の方</li> </ul>
ご 融 資 金 額	10万円以上300万円以下(1万円単位)
ご 融 資 利 率	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年9.0%(保証料を含む) 固定金利</li> <li>●保証会社の審査により年9.0%でお取扱できない場合は、固定金利年13.5%(保証料込)のタイプで同時手続きさせていただきます。</li> </ul>
ご 融 資 期 間	6ヶ月以上7年以内
ご 返 済 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●元利均等定額返済(ご返済日は毎月6日・16日のいずれかの日となります)</li> <li>●お申込金額の50%以内についてボーナス併用返済もご用意します。</li> </ul>
担 保 ・ 保 証 人	不要 [機クレジットの保証付]

●詳しくは当金庫各支店窓口までお問い合わせください。  
●店頭に商品概要説明書をご用意しております。  
●審査結果によってはお申込金額の減額またはご希望に添えない場合があります。